

共生・協働の 地域社会づくり

**NPO法人
おおすみ半島コミュニティ放送ネットワーク**
TEL 0994 (41) 1485 <http://www.0033fm.net/>

「だれでもラジオ!どこでもリスナー!」
ラジオで地域づくり

大隅半島には、異なるNPO法人がそれぞれ運営するFMかのみ、FMきもつき、FM志布志、FMたるみずの4つのコミュニティFM放送局があります。これら4局のネットワークを図り、営業や番組制作を担っているのが、NPO法人おおすみ半島コミュニティ放送ネットワークです。同法人が制作した番組や各局が制作した番組を4局で放送しており、放送エリアは大隅半島の8割をカバーしています。

法人設立のきっかけは、9年前にさかのぼります。日本で初めてNPO法人の運営による京都コミュニティ放送の設立に携わった肝付町出身の大山一行氏が「大隅半島にも情報発信のためのFMコミュニティ放送局が必要」と大隅地域の経済界や住民に開設を呼びかけました。民放では、人口が少ない大隅地域の情報が取り上げられることはあまり多くないことから、情報過疎化を憂えていた地元もこれに賛同してスタートしました。

放送事業や番組制作のノウハウもなく、手探りのスタートでしたが、地元出身のビデオ制作者やラジオパーソナリ



生番組放送中の様子
スタジオ:「リーガルカフェ」ひまわり」
マスター 藤尾直人弁護士

ティ経験者などをスタッフに加え、徐々に運営は軌道に乗ってきており、朝の情報生番組「おおすみおはようラジオ!」などを制作し、地域の情報を発信しています。

週一回の連絡会議で、4局のスタッフと番組の内容やリスナーの声などについて意見交換し、番組制作に反映させています。

放送の電波が届く地域に密着した情報や地元住民が求めている情報を提供すること」と語る事務局長の伊藤ふささん。例えば、パーソナリティーが地元で採れた食材を使って簡単でおいしくできる食卓の一品を紹介したり、地元の弁護士や税理士による法律や経営に関する相談番組を放送しています。また、市民の自主制作番組の放送枠もあり、地元ガイドによる町歩きやインタビュー番組などが放送されています。

平成25年度は、県の委託を受け、地元産品の消費拡大や交流人口の増加を目的として、「おおすみの食」をテーマにした番組を制作し、情報発信しています。また、速報性というラジオ放送の特性



スタッフの皆さん

代表者からひとこと

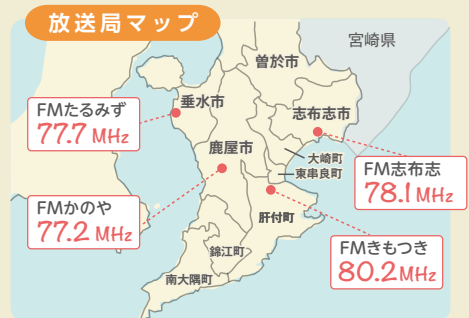


むらかみじゅん
理事長の村上 潤さん

大隅半島に生まれたコミュニティ放送として地域の皆さまに支えられ、8年が経過しました。さらにネットワークを拡げていきたいですね。

リスナーは、40〜60代が中心ですが、インターネットによるストリーミング放送を行ったり、スマートフォンでも聴けるように「FM+」（エフエムプラス）というアプリにも対応するなど、若者や県外在住者へのリスナー拡大も図っています。

このように、おおすみ半島コミュニティ放送ネットワークは、行政機関や企業などと協働し、地域に密着した放送を行い、共生・協働による地域社会づくりの一翼を担っています。



共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。